

1 総括

(1) 教育目標（学校経営案より）

「やさしい心 つよい体」を校訓とし、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざして、基礎基本を重視しつつ個性と創造性を伸張し、生きる力と人間性豊かな児童の育成を図る。

(2) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成

- ・ 主体的・対話的で深い学びをめざし、学び合いのある学習指導を工夫し、思考力・表現力・判断力を高める。
- ・ ICT機器の活用を工夫し、基礎基本の充実を図ると共に、できる喜びを実感できる授業の工夫をする。
- ・ 教科・道徳・行事等のつながりを意識した効果的な指導の工夫をし、生きて働く力を高める。
- ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、できる喜びを実感できる授業の工夫をする。
- ・ 少人数指導やTT指導の指導方法を工夫し、個に応じた学習指導を図る。

イ 心豊かな児童の育成

- ・ 様々な交流活動の場を設定し、ふれあい、学び合う活動を通し、コミュニケーション能力の向上と自己肯定感の醸成に努める。
- ・ 行事・異学年交流・体験活動と結びつけた効果的な道徳教育を推進し、心豊かな児童の育成に努める。
- ・ 「宝っ子タイム」の充実を図り、互いに認め合える雰囲気と自己肯定感の醸成に努める。
- ・ 「宝っ子6つの約束」の実現を通し規範意識を高め、居心地のよい学校づくりに努める。
- ・ 人権教育の推進に努め、よりよい集団づくりを通して、互いに認め合い、思いやりのある児童を育てる。

ウ 家庭・地域の教育力の活用

- ・ 学校支援型コミュニティスクールの充実をめざし、地域と協働して児童の育成を図る。
- ・ 保護者・地域ボランティアを授業などに積極的に活用し、学校理解を図るとともに、家庭・地域との連携を深める。
- ・ 伝統工芸「七宝焼」との関わりを核に、地域との交流を広げ、地域への愛着を深める。

エ 持続可能な教育活動のために

- ・ 質の高い授業や個に応じた指導を充実させるために、学校全体で組織的に、教員の担うべき業務の適正化を促進する。
- ・ ワークライフバランスを大切にしたい個々の職員の能力開発に努め、充実感のある雰囲気の醸成に努める。

2 自己評価の実施体制

(1) 調査時期 令和2年12月（児童・保護者・教職員）

(2) 調査項目 別紙アンケート結果参照

(3) 調査対象（有効回答者数／対象者数）

- ・ 児童 131名／全132名
- ・ 保護者 129名／全132名
- ・ 教職員 15名／全15名

3 調査結果【資料として添付】

別紙アンケート結果参照

4 考 察【児童、保護者、教職員の総括的考察】

- (1) 全体を通しての自己評価は、評価項目16項目中14項目がAとなっている。児童、保護者、教職員のそれぞれの達成度は昨年度と比べると、16項目中児童は5項目、保護者は12項目、教職員は12項目の評価が同じもしくは高くなっている。保護者と教職員は昨年度と比べて達成度が同じもしくは高くなっているが、児童は達成度が低くなっているため、今年度の取組について振り返り、改善を図っていききたい。
- (2) 児童において達成度が最も低かった項目は、「豊かな心を育む読書指導」、「地域の教育力を生かした教育活動の推進」であった。読書指導については、朝の「読書タイム」を継続し、児童が興味をもてる図書を増やしていききたい。
- (3) 教職員においては、「施設設備の点検と児童の安全確保」、「地域の教育力を生かした教育活動の推進」では達成度が最も低い。毎月実施している施設設備の点検で改善が必要な箇所を確認し、計画的に取り組んでいききたい。また、地域の教育力を生かした教育活動は、感染症対策を講じながら、地域との関わりを大切にして教育活動を進めていききたい。
- (4) 保護者において達成度が最も低かった項目は、「話し合い活動を取り入れた学習指導」であった。学び合いのある学習指導は重点努力目標でもあるので、感染症対策を講じながら、ICTを活用し、話し合い活動を取り入れた学習を工夫していききたい。

5 成果と課題

《成果》

- (1) 全体を通して評価がよかったことは、今年度取り組んだ教育活動が評価されたと考える。しかし、改善すべき点もあるので、今年度の活動を振り返り、次年度に向けて、手立てを考えていききたい。
- (2) 保護者の評価が上がった項目が8項目あった。今年度の教育活動を認めていただき、好意的に学校をとらえているといえる。来年度も保護者の理解を得ながら、教育活動を進めていききたい。

《課題》

- (1) 「話し合い活動を取り入れた学習指導」では、自己評価がBであった。今後も感染症対策を講じながらの話し合い活動になるが、短時間でも学び合える話し合い活動となるよう工夫していききたい。
- (2) 「地域の教育力を生かした教育活動の推進」では、自己評価がBであった。毎年、地域の方を学校に招いて行ってきた「地域の方とふれあう会」や「昔の遊びを教わる会」などが、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となったことなどが影響していると考えられる。来年度は感染症対策を講じながら、地域との関わりを大切にして教育活動を進めていききたい。

6 改善策

- (1) 「話し合い活動を取り入れた学習指導」について
 - ・ ICTを活用しながら、児童がお互いに学び合える授業改善を進める。
 - ・ 感染症対策を講じながら、短時間でも話し合い活動できるように工夫する。
- (2) 「地域の教育力を生かした教育活動の推進」について
 - ・ 児童が自分たちが住む地域をより知るための学習活動を考える。
 - ・ 感染症対策を講じながら、地域の方と協働した教育活動を計画する。